



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
コード番号 6785 URL <https://www.suzukinet.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 則明 TEL 026-251-2600
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	13,101	△4.1	1,507	△19.9	1,669	△18.0	1,032	△19.6
2023年6月期第2四半期	13,662	4.6	1,882	21.1	2,035	26.4	1,284	39.2

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 1,037百万円 (△21.4%) 2023年6月期第2四半期 1,320百万円 (△16.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	72.01	—
2023年6月期第2四半期	89.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	35,862	23,964	65.1
2023年6月期	34,428	23,552	66.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 23,329百万円 2023年6月期 22,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,592	12.2	3,608	14.5	3,591	11.0	2,204	12.7	153.50

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	14,404,400株	2023年6月期	14,404,400株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	58,643株	2023年6月期	69,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	14,338,408株	2023年6月期2Q	14,375,402株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な金融引締め政策の継続、長期化するウクライナ情勢、中東における緊張等、景気回復のペースに鈍化がみられました。米国では、個人消費や労働市場の回復を背景に景気は堅調に推移しました。一方、中国においては不動産市場の悪化、需要の低迷により景気は減速しました。欧州でも、資源価格の高騰と賃金の上昇などインフレが継続し景気が低迷しました。国内経済は、個人消費の増加、インバウンド拡大による経済活動の持ち直しにより緩やかに景気が回復しております。

当社グループにおいては、金型セグメントでは、全体的に低調で社内生産用の金型を中心に推移しました。部品セグメントは、産機向け及び半導体関連部品の復調は想定より遅れており足踏みの状況でした。一方、自動車電装部品の需要は増加し好調に推移しました。機械器具セグメントでは、自動機器は自動車関連の設備投資が慎重だったことにより低調でした。一方、医療組立は堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、新たな市場開拓、新たな技術開発を進めると共に既存製品の高品質化を実現するために積極的な投資・研究活動を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高131億1百万円（前年同期4.1%減）、営業利益は15億7百万円（前年同期比19.9%減）となり、営業外収益を為替差益1億5千9百万円を計上し、経常利益は16億6千9百万円（前年同期比18.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3千2百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は社内生産用のスマートフォン関連部品金型の受注が増加したものの、全体的には売上高は前年同期を下回りました。一方、利益については金型の高付加価値化の進展と生産効率化により前年同期を上回り、減収増益となりました。

その結果、売上高は6億1千9百万円（前年同期比15.2%減）、セグメント利益は2億1千8百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品では産機向けや半導体関連部品の回復が足踏みし、スマートフォン関連部品は伸び悩みを見せました。自動車電装部品は堅調に推移しましたが、全体では前年同期と比較して減収減益となりました。

その結果、売上高は97億6千1百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は16億1千5百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。自動機器は自動車関連の設備投資が慎重に推移したことで売上高は前年同期を下回りましたが、生産効率を維持できたことと医療器具が堅調に推移したことで、利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は27億1千7百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は3億9百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

④賃貸

賃貸事業、売電事業を行っております。一部の賃貸契約が更新したことで、売上高は3百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は4千2百万円（前年同期比52.9%増）となりました。

上記のセグメント利益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は170億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億1千5百万円増加しました。これは主に現金及び預金が17億4千5百万円増加したことによるものであります。固定資産は188億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千1百万円減少しました。これは主に有形固定資産が3千1百万円、投資有価証券が3億1千3百万円減少し、繰延税金資産が1億1百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は358億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億3千3百万円増加しました。

(負債)

流動負債は91億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3千2百万円増加しました。これは主に買掛金が12億3千9百万円、未払消費税等が1億3千5百万円増加したことによるものであります。固定負債は27億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千1百万円減少しました。これは主に長期借入金が3億円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は118億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千1百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は239億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千2百万円増加しました。これは主に利益剰余金が6億2百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金が2億1千8百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.1%（前連結会計年度末は66.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ17億4千5百万円増加し、59億5千7百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、37億2千5百万円（前年同期比46.8%増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益17億3千7百万円、仕入債務の増加11億9千5百万円、売上債権の減少4億5千万円、減価償却費9億9千4百万円による資金の増加、棚卸資産の増加2億5千万円、法人税等の支払額5億3千3百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8億5百万円（前年同期比41.6%減）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出8億4千万円による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億7千3百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額の減少1億5百万円、長期借入金の返済による支出3億3千1百万円、親会社株主による配当金の支払額4億2千9百万円、非支配株主への配当金の支払額2億7百万円による資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,499,782	6,245,315
受取手形、売掛金及び契約資産	5,958,423	5,556,879
商品及び製品	411,213	511,435
仕掛品	1,948,603	2,039,566
原材料及び貯蔵品	1,427,641	1,541,657
その他	1,177,160	1,143,217
流動資産合計	15,422,824	17,038,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,799,055	9,600,849
機械装置及び運搬具（純額）	4,506,237	4,778,151
土地	2,012,339	1,911,134
その他（純額）	746,150	742,416
有形固定資産合計	17,063,782	17,032,551
無形固定資産	101,588	102,336
投資その他の資産		
投資有価証券	1,512,496	1,199,193
その他	328,933	491,174
貸倒引当金	△1,060	△1,060
投資その他の資産合計	1,840,370	1,689,308
固定資産合計	19,005,741	18,824,196
資産合計	34,428,566	35,862,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,072,355	5,311,999
短期借入金	1,108,814	1,091,597
1年内返済予定の長期借入金	636,520	605,980
未払法人税等	551,878	528,539
賞与引当金	135,720	154,184
役員賞与引当金	35,200	49,920
その他	1,257,453	1,388,385
流動負債合計	7,797,941	9,130,607
固定負債		
長期借入金	1,780,900	1,480,300
長期未払金	344,470	327,520
退職給付に係る負債	945,760	951,803
資産除去債務	7,466	7,490
固定負債合計	3,078,597	2,767,114
負債合計	10,876,539	11,897,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,442,450	2,442,450
資本剰余金	2,214,824	2,217,000
利益剰余金	17,442,810	18,045,315
自己株式	△66,897	△56,700
株主資本合計	22,033,187	22,648,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775,719	557,318
為替換算調整勘定	96,857	116,290
退職給付に係る調整累計額	6,882	7,800
その他の包括利益累計額合計	879,459	681,409
非支配株主持分	639,379	635,073
純資産合計	23,552,026	23,964,548
負債純資産合計	34,428,566	35,862,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,662,589	13,101,052
売上原価	10,697,375	10,444,309
売上総利益	2,965,214	2,656,742
販売費及び一般管理費	1,083,210	1,149,405
営業利益	1,882,003	1,507,336
営業外収益		
受取利息	2,516	2,537
受取配当金	3,235	2,172
受取賃貸料	3,813	4,533
スクラップ売却益	6,246	6,411
為替差益	182,955	159,508
その他	33,038	10,229
営業外収益合計	231,805	185,392
営業外費用		
支払利息	17,593	23,661
寄付金	60,469	—
営業外費用合計	78,062	23,661
経常利益	2,035,746	1,669,067
特別利益		
固定資産売却益	930	3,343
投資有価証券売却益	—	65,468
補助金収入	—	120,098
特別利益合計	930	188,909
特別損失		
固定資産売却損	203	424
固定資産除却損	1,311	133
固定資産圧縮損	—	120,000
特別損失合計	1,515	120,557
税金等調整前四半期純利益	2,035,162	1,737,419
法人税、住民税及び事業税	570,594	507,388
法人税等調整額	5,828	△6,081
法人税等合計	576,423	501,306
四半期純利益	1,458,739	1,236,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	174,407	203,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,284,331	1,032,561

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,458,739	1,236,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,828	△218,401
為替換算調整勘定	△20,378	18,843
退職給付に係る調整額	△6,895	917
その他の包括利益合計	△138,102	△198,639
四半期包括利益	1,320,636	1,037,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,155,154	834,510
非支配株主に係る四半期包括利益	165,482	202,963

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,035,162	1,737,419
減価償却費	952,938	994,063
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,210	17,503
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,448	14,720
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,417	6,886
受取利息及び受取配当金	△5,751	△4,709
支払利息	17,593	23,661
有形固定資産売却損益 (△は益)	△726	△2,919
有形固定資産除却損	1,311	133
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△65,468
補助金収入	—	△120,098
固定資産圧縮損	—	120,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,385	450,668
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△525,995	△250,094
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,077,761	1,195,535
その他	△494,464	157,098
小計	3,005,787	4,274,402
利息及び配当金の受取額	7,867	8,119
利息の支払額	△17,383	△23,010
法人税等の支払額	△458,479	△533,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,537,792	3,725,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△144,011	△144,014
定期預金の払戻による収入	144,009	144,011
有形固定資産の取得による支出	△1,331,603	△840,557
有形固定資産の売却による収入	1,300	8,592
有形固定資産の除却による支出	△200	—
投資有価証券の取得による支出	△16,318	△7,610
投資有価証券の売却による収入	—	72,364
その他	△31,393	△38,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,378,217	△805,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△230,523	△105,194
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△264,540	△331,140
配当金の支払額	△286,845	△429,678
自己株式の取得による支出	△24	△49
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△40,520	—
非支配株主への配当金の支払額	△179,340	△207,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,794	△1,073,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103,234	△101,788
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,054,545	1,745,531
現金及び現金同等物の期首残高	3,861,577	4,211,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,916,123	5,957,332

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金型	部品	機械器具	賃貸	計		
売上高(注) 3							
日本	670,573	6,438,276	2,796,663	3,342	9,908,855	—	9,908,855
中国	—	1,824,921	731	—	1,825,653	—	1,825,653
タイ	—	1,364,435	—	—	1,364,435	—	1,364,435
その他	59,814	476,109	27,721	—	563,645	—	563,645
顧客との契約から生 じる収益	730,387	10,103,742	2,825,116	3,342	13,662,589	—	13,662,589
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	730,387	10,103,742	2,825,116	3,342	13,662,589	—	13,662,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	287,358	△193,264	1,915	137,325	233,334	△233,334	—
計	1,017,746	9,910,478	2,827,031	140,667	13,895,924	△233,334	13,662,589
セグメント利益	145,854	2,030,473	241,893	27,560	2,445,782	△563,779	1,882,003

(注) 1. セグメント利益の調整額△563,779千円には、セグメント間取引消去30,724千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555,099千円、棚卸資産の調整額△20,721千円及びその他の影響額

△18,683千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金型	部品	機械器具	賃貸	計		
売上高(注) 3							
日本	618,646	5,773,113	2,714,059	3,632	9,109,451	—	9,109,451
中国	—	2,060,531	856	—	2,061,387	—	2,061,387
タイ	—	1,468,735	—	—	1,468,735	—	1,468,735
その他	360	458,917	2,200	—	461,477	—	461,477
顧客との契約から生 じる収益	619,006	9,761,297	2,717,116	2,732	13,100,152	—	13,100,152
その他の収益	—	—	—	900	900	—	900
外部顧客への売上高	619,006	9,761,297	2,717,116	3,632	13,101,052	—	13,101,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	267,128	△417,544	225,853	166,950	242,387	△242,387	—
計	886,134	9,343,753	2,942,969	170,582	13,343,439	△242,387	13,101,052
セグメント利益	218,564	1,615,023	309,042	42,153	2,184,783	△677,447	1,507,336

(注) 1. セグメント利益の調整額△677,447千円には、セグメント間取引消去1,569千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△652,716千円、棚卸資産の調整額△27,222千円及びその他の影響額922千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。